

## 令和5年度スタート、一年間、よろしくお祈りします！

<経営ビジョン> 『わたしたちは、未来を担う大切な子どもたちに安全・安心で安価なおいしい給食用物資の提供を安定して行い、そして心と体の健康を守り、信頼される給食会を目指します。』

学校では、新一年生を迎え、希望に満ち活気あふれる新学期がスタートしたと思います。

コロナも減少傾向に落ち着き、扱い第5類相当に格下げになりますが、引き続き感染防止対策を一人一人が心がけて自己防衛を図ってまいりたいと思います。

当給食会では、新たな気持ちで未来を担う大切な子どもたちの心と体の健やかな成長を願い、安全・安心な物資の安定的な供給及び食育の充実に向けて取り組んでまいります。

各校、給食センターの栄養教諭、学校栄養士、給食支援員・調理員のみなさん、関係者のみなさんには、今後とも、ご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

学校給食だよりは、これからも引き続き、新聞やニュース等を幅広く取り上げ、学校給食に関する記事や内容をお伝えしてまいりたいと思います。どうぞよろしくお祈りいたします。

## 大館桂桜高の川口小卒業生ら母校の給食テーブル補修ボランティア破損部分を溶接



大館桂桜高校機械科の2年生3人が26日、大館市の同校で、同市の川口小学校が給食で使っているテーブルの破損部分を溶接して補修するボランティアを行った。参加者には川口小の卒業生もおり、母校の力になると、懸命に作業に取り組んだ。

川口小のテーブルは、裏面に椅子に引っかけするためのU字の金具が複数取り付けられているが、経年劣化などで外れてきていた。

川口小は、児童に物を大切にすることを養ってもらおうとともに、先輩が地域貢献に取り組む姿を見てもらおうと、大館桂桜高に修理を依頼。授業で溶接を学ぶ川口小卒業生の石戸谷裕さん、高橋誠河さんと、2人と同じ野球部員の藤原侑樹さんが参加した。

生徒たちは、U字の金具の接合面を平らに削った後、その場で溶接。最終的には外れていた69個の金具のうち、変形が激しいものなどを除いて44個をくっ

つけた。

石戸谷さんは「作業をしながら、友達と給食を食べていた時を思い出した。後輩たちが使う物を直すことで、母校に貢献できたのはうれしい」。高橋さんは「自分も小学生の頃、金具を外してしまったことがあったので、補修できて良かった」と笑顔で話した。

補修されたテーブルは引き続き川口小で使われる。春休み中のため、今回の補修作業の様子は今後、動画で児童たちに見せる予定。(盛禎央) (令和5年3月29日(水)秋田魁新聞より抜粋)



テーブルの補修作業のため溶接に取り組む生徒